

J-クレジット制度管理者御中

実績確認概要書

平成 31 年 1 月 8 日

審査機関名 ソコテック・サーティフィケーション・ジャパン株式会

1. 排出削減事業の概要

| | |
|--------------|---|
| 排出削減事業名 | 十日町市ミオンなかさとペレットボイラー等整備事業 |
| 承認番号 | JCDM-PJKC0524 |
| 排出削減事業者名 | 十日町市 |
| 排出削減共同実施事業者名 | ソニー株式会社 |
| 事業実施場所 | ミオンなかさと (新潟県十日町市宮中己 4 1 9 7) |
| 事業の概要 | 熱出力 50 万 kcal/h のペレットボイラー 2 台を設置し、年間を通して施設のメインボイラーとする。なお、施設のフル稼働時に不足する部分は、既存の A 重油ボイラーで補完しながら、施設内の熱エネルギーの安定利用を図る。また、太陽光発電装置 (10kW) を導入し、省エネに取り組むとともに積雪地域における公共施設の取り組み推進事例として啓発を図る。 |
| 排出削減量の計画 | 方法論 001 : 2010 年度 : 261 tCO ₂ /年 2011 年度 : 1,047 tCO ₂ /年 2012 年度 : 1,047tCO ₂ /年 2013-17 年度 : 1,064 tCO ₂ /年 2018 年度 : 802 tCO ₂ /年 方法論 008 : 2010 年度 : 0 tCO ₂ /年 2011 年度 : 4 tCO ₂ /年 |

| | |
|---------|--|
| | 2012 年度：3tCO2/年 2013 年度：5 tCO2/年 2014-2017 年度：4 tCO2/年 2018 年度：3 tCO2/年 方法論 001、008 合計 2010 年度：261tCO2/年 2011 年度：1,051 tCO2/年 2012 年度：1,050 tCO2/年 2013-2017 年度：1,069 tCO2/年 2018 年度：805 t CO2/年 （事業実施期間合計 8,512 tCO2） |
| 認証期間 | 開始日 2011 年 1 月 1 日 終了予定日 2018 年 12 月 31 日 ※J-クレジット制度への移行手続きにより、終了予定日は 2018 年 12 月 31 日となっている。 |
| 排出削減方法論 | 方法論番号 001 ボイラーの更新 方法論番号 008 太陽光発電設備の導入 |

2. 本実績確認の対象期間

2016 年 11 月 1 日 ～2018 年 8 月 31 日（第 6 回目実績報告）

3. 実績確認結果

本実績確認期間における排出削減量は、承認排出削減事業計画に従ってモニタリングされた結果に基づき算定されており適正である。

| | |
|-------|--|
| 排出削減量 | 557 tCO2（2016 年 11 月 1 日 ～2018 年 8 月 31 日） |
|-------|--|

4. 実施した実績確認手続きの概要

以下の実績確認手続きにより、報告された排出削減量に重大な誤りがないことを確認している。

| 要件 | 審査手続き |
|---|---|
| <p>排出削減量が承認排出削減計画に従って実施した結果生じていること。</p> | <p>1) 開始日の確認（初回実績確認の場合） 初回実績確認ではないため該当しない。</p> <p>2) 対象期間中の設備稼働の確認 燃料供給会社からの請求書、木質ペレット燃料分析試験結果、太陽光発電の電力計による計測データ及び事業者へのヒアリングにより、導入設備は実績報告期間において継続的に稼働していたことを確認した。</p> |
| <p>排出削減量が承認排出削減方法論及び承認排出削減事業計画に従って算定されていること</p> | <p>1) モニタリング方法の確認 燃料供給会社からの請求書、木質ペレット燃料分析試験結果、太陽光発電の電力計による計測データ、事業実施前後ボイラーのカタログによる効率値及び排出削減事業関係者へのヒアリングにより、モニタリング方法が方法論及び当該削減計画に沿って実施されていたことを確認した。</p> <p>2) 活動量の正確性 燃料供給会社からの請求書、木質ペレット燃料分析試験結果、太陽光発電の電力計による計測データ、及び排出削減事業関係者へのヒアリングにより、エネルギー使用量の記録・保存は適切になされており、活動量が正確に集計されていることを確認した。</p> <p>3) 単位発熱量、排出係数等の係数の確認 木質ペレット燃料分析試験結果、J-クレジット制度のモニタリング・算定規程（排出削減プロジェクト用）Ver.3.2により、排出削減量の算定式及び使用されている単位発熱量、排出係数等は方法論及び承認排出削減事業計画通りであることを確認した。</p> <p>4) 排出削減量算定方法及び算定結果の確認 排出削減量の算定結果を燃料供給会社からの請求書、木質ペレット燃料分析試験結果、太陽光発電の電力計による計測データと集計表との突合、さらに計算過程の確認、再計算等実施した結果、排出削減量の算定結果に大きな誤りはないことを確認した。</p> |
| <p>算定結果がクレジット認証期間の終了日を超えないこ</p> | <p>今回の実績確認対象期間は 2016 年 11 月 1 日から 2018 年 8 月 31 日までとなっているが、J-クレジット制度への移行手続</p> |

| | |
|---|---|
| と | きにより、終了予定日は2018年12月31日となっているため、当該算定結果は適切であることを確認した。 |
|---|---|

5. 承認排出削減事業計画からの重要な変更点についての評価

本実績確認期間の実績確認の結果、承認排出削減事業計画からの重要な変更点がないことを確認した。

6. 特記事項

本実績確認期間における再生可能エネルギー利用量は、バイオマス利用量で原油換算200.8KL（熱量換算 7,784.4GJ）、太陽光発電量で13,085kWhであることを確認した。

以 上